

東北町 町制施行20周年記念誌



ANNIVERSARY

TOHOKU

つなぐ20年の歴史、 未来へ羽ばたく東北町

東北町は合併して20周年
これまでの20年の歩みをこれからの未来につなぐ
何年先も自慢の故郷であるために

もくじ

2	あいさつ
3-4	町の概要
5-6	歴代三役・議長等
7-10	20年の歩み
11-12	はたちの夢
13-14	東北町総合振興計画
15	年間イベント
16	プロジェクト
17	足湯・バレルサウナ
18	町の公式 SNS
	20周年ロゴマーク
	20周年キャッチフレーズ



あいさつ *message*

東北町長 長久保 耕治

旧上北町、旧東北町の2町が平成17年に合併してから20周年を迎えるにあたり、記念誌を発刊することは、町民の皆さま方の温かいご理解とご協力の賜物であり、心から感謝申し上げます。

記念誌では、これまでの20年の歩みをともに祝いそして喜び、これまで築き上げてきたものをさらに推し進め、次の10年、20年につなげていければと思っています。

本町の特色ある農林水産業や緑の大地と小川原

湖に代表される豊かな自然をはじめとした魅力あるまちづくりを基本とし、持続可能な地域社会の実現のため、町民の皆さまの声に耳を傾け、地域や世代、業種の垣根を超え、大きなひとつのチームでまちづくりを進めてまいります。

結びに、20周年が「東北町新時代」の幕開けとなるよう皆さまとともに「挑戦・前進」してまいりますので、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。



あいさつ *message*

東北町議会議長 田嶋 悟

町制施行20周年を迎えましたこと、心よりお祝い申し上げます。

平成17年の合併以来、町民の皆さまとともに歩んできた20年は、挑戦と協働の歴史でした。豊かな自然と温かな人の絆に支えられ、町は地域の力で成長を続け、今日の姿へと歩んでまいりました。

町議会といたしましても、町民の負託に応えるべく、地域の課題に真摯に向き合い、将来を見据えた

議論を重ねながら、まちづくりに努めてまいりました。

今後も町民の声を大切にし、東北町のさらなる発展に尽力してまいります。

結びに、これまで町の発展にご尽力されたすべての皆さまに深く感謝申し上げるとともに、東北町のよりよい未来と、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心より祈念いたします。

東北町の概要

町民憲章

(平成17年9月2日制定)

わたくし達は、みどりの大地と小川原湖に
いだかれた東北町の町民です。

わたくし達は、先人の築いた郷土にうやまい
と誇りをもち、いのち輝く豊かなふるさとを
つくるため、この憲章を定めます。

- 1 花とみどりを育て、美しい町にします。
- 1 ぬくもりのある家庭、やさしさあふれる町にします。
- 1 仕事に励み、活気ある町にします。
- 1 心と体をきたえ、健康で明るい町にします。
- 1 学ぶ心を持ち続け、文化のかおる町にします。



東北町は、青森県の東部、上北地方
のほぼ中央部にあり、青い森鉄道線の
停車駅が4駅、高規格道路の上北自動
車道も経由するほか、近くには三沢空
港や東北新幹線七戸十和田駅など、首
都圏をはじめ国内各地を結ぶ交通網
が整備されています。また、県都青森
市、県南部地方の拠点都市である八戸
市からも約40*。圏に位置しており、恵
まれた環境にあります。

地勢は八甲田山系の山々から続く
丘陵地、台地が大部分を占め、七戸川、
砂土路川などの河川沿いに平坦地が
広がっています。また、当町の東部一
帯には青森県で最大、全国でも11番目
の面積を誇る小川原湖があります。

人口・世帯数

(令和7年3月31日)

総人口 15,876人

男 7,700人 女 8,176人

世帯数 7,283世帯

誕生までのあゆみ



いだてんくん

小川原湖の妖精
しじみーる



平成17年3月31日
新『東北町』誕生

町章



『と』を象形した緑の大地、『う』を
象形した小川原湖が高瀬川放水路で
太平洋と結ばれた形状で、北東の位
置・希望・躍動を表現している。

中の『円』は、調和のイメージと「日
本中央の碑」を表現し、文化の豊かさ
を意味する。



さくら

小川原湖畔に春を告げる
花として、町民の心を和ま
せ、元気を与えてくれる「さ
くら」は、東北町の自然豊か
な美しさを表現するのにふ
さわしい花です。

町のシンボル



甲地赤松

緑の大地に、大空に向か
って真っ直ぐに立つ「甲地
赤松」の姿は、力強さとリ
しさを感じ、東北町の繁栄
にふさわしい木です。



はくちょう

小川原湖に飛来する「は
くちょう」は、純白で、優雅
で、冬の使者として、町民に
親しまれ、大きく飛び立つ
姿は、東北町の姿を象徴す
るのにふさわしい鳥です。

町民の歌

作詞・作曲 いしだ ただし



歴代町長



初代町長
竹内 亮一
平成17年4月24日～
平成21年4月23日



第2・3代町長
斗賀 壽一
平成21年4月24日～
平成29年4月23日



第4代町長
蛭名 鈺治
平成29年4月24日～
令和3年4月23日



第5・6代町長
長久保 耕治
令和3年4月24日～現任中

歴代副町長



副町長
沼尾 啓吉

初代	向井 榮一	平成17年 6月 2日～平成21年 4月21日
第2代	蛭名 鈺治	平成22年 6月 8日～平成26年 6月 7日
第3代	蛭名 鈺治	平成26年 6月 8日～平成28年12月 9日
第4代	向井 正弘	平成29年 5月19日～令和 3年 4月23日
第5代	沼尾 啓吉	令和 3年 6月 3日～令和 7年 6月 2日
第6代	沼尾 啓吉	令和 7年 6月 3日～現任中

歴代教育長



教育長
長尾 誠治

初代	藤田 友志	平成17年 3月31日～平成17年 6月 2日
第2代	蛭名 平一郎	平成17年 6月 3日～平成21年 4月21日
第3代	松山 富雄	平成21年 9月11日～平成23年10月31日
第4代	野田 勲	平成23年11月 7日～平成25年 9月 8日
第5代	野田 勲	平成25年 9月 9日～平成27年 5月15日
第6代	漆戸 隆治	平成27年 6月10日～平成29年 4月23日
第7代	乙山 博道	平成29年 5月19日～平成30年 6月 9日
第8代	沼尾 一秋	平成30年 6月10日～令和 3年 4月23日
第9代	沼尾 一秋	令和 3年 6月10日～令和 6年 6月 9日
第10代	長尾 誠治	令和 6年 6月10日～現任中

歴代議長



初代議長
沼山 喜久男
平成17年4月11日～
平成18年9月30日



第2代議長
榎館 長吉
平成18年10月10日～
平成22年9月30日



第3代議長
沼田 徳右衛門
平成22年10月15日～
平成25年6月12日



第4代議長
乙供 吾一
平成25年6月12日～
平成26年9月30日



第5代議長
甲地 昇
平成26年10月9日～
平成30年9月30日



第6代議長
笹倉 健
平成30年10月5日～
令和4年9月30日



第7代議長
岡山 粕男
令和4年10月6日～
令和7年6月11日



第8代議長
田嶋 悟
令和7年6月11日～現任中

歴代副議長

初代 阿部 博光

平成17年4月11日～
平成18年9月30日

第2代 笹倉 健

平成18年10月10日～
平成22年9月30日

第3代 乙供 吾一

平成22年10月15日～
平成25年6月12日

第4代 森川 盛人

平成25年6月12日～
平成26年9月30日

第5代 蛭沢 達也

平成26年10月9日～
平成30年9月30日

第6代 田嶋 悟

平成30年10月5日～
令和3年8月31日

第7代 瀬川 武春

令和3年9月2日～
令和4年9月30日

第8代 和田 勇人

令和4年10月6日～
令和7年6月11日

第9代 沼山 浩幸

令和7年6月11日～現任中

20年の歩み

平成17年 2005

3月31日

新東北町誕生

4月

有機供給センター(堆肥センター)完成

6月

郵便局と役場をつなぐテレビ電話システム導入

9月

町章と町民憲章決定

新東北町社会福祉協議会誕生

平成18年 2006

1月

「町民の歌」と町の「花・木・鳥」決定

3月

美須々地区生涯学習センター完成

新東北町文化協会・東北町観光協会設立

4月

新東北町体育協会設立

東北地区での町民バス運行スタート

平成19年 2007

1月

船ヶ沢分場漁業用栈橋完成

栄町集会所完成

2月

新町集会所完成

4月

名称を助役から副町長に変更

12月

淋代地区生涯学習センター完成

平成20年 2008

9月

東北町老人福祉センター改修工事完了

平成21年 2009

1月

上北中学校改修工事完了

甲地小学校新校舎完成

5月

東北町ながいも洗浄選別・貯蔵施設完成



船ヶ沢分場漁業用栈橋完成



栄町集会所完成



新町集会所完成



淋代地区生涯学習センター完成



東北町老人福祉センター改修工事完了



道の駅買い物客100万人目



甲地小学校新校舎

平成22年 2010

1月

箱根駅伝に東北町初のランナー石田亮さん(城西大学)出場

3月

乙供元町集会所 坂下・栄町集会所完成

12月

小川原湖交流センター(宝湖館)完成

平成23年 2011

3月11日

東日本大震災発生

6月

東北町テレビ放送開始

平成24年 2012

9月

県中学校駅伝競走大会で東北中男子が5年ぶりに全国大会へ

平成25年 2013

3月

上北自動車道上北道路開通

平成26年 2014

3月

小川原湖の妖精しじみーる誕生

4月

デジタル防災行政用無線運用開始

9月

第22回青森県民駅伝で東北町が13年ぶりの総合優勝

12月

東北中学校新校舎完成

平成27年 2015

3月

合併10周年

東北中学校・東北東中学校閉校

4月

新東北中学校開校

8月

東北中学校・上北中学校と天母國民中学(台湾)が姉妹校提携を締結

十和田おいらせ農協「小川原ライスセンター」完成

10月

マイナンバー制度スタート

平成28年 2016

8月

台風10号が猛威 町内各地に甚大な被害



箱根駅伝出場 石田亮選手



小川原湖交流センター完成



上北道路開通



まなかのカフェお披露目



「しじみーる」誕生



県民駅伝総合優勝



東北中学校新校舎完成



台風10号 甚大な被害

平成29年 2017

3月

第一小学校・小川原小学校閉校

東北町武道館完成

4月

3つの小学校の統合による新上北小学校開校

7月

ゆうき青森農協が旧東北東中学校を改修した新本所で業務開始

8月

沼山助内さんに名誉町民の称号を授与

12月

小川原湖産大和しじみが農林水産省の地理的表示
(G1)保護制度に登録

平成30年 2018

2月

米軍三沢基地所属の戦闘機が燃料タンクを小川原湖に投棄

3月

ガニ汁がよしもと47シュフラン2018の金賞に選出

平成31年 令和元年 2019

3月

上北自動車道上北天間林道路開通

東北小学校新校舎完成

蛸沢小学校・水喰小学校・千曳小学校閉校

4月

3つの小学校の統合による新東北小学校開校

5月

元号が平成から令和へ

12月

県道219号・水喰上北町停車場線「甲地バイパス」開通

令和2年 2020

1月

国内で初めて新型コロナウイルスの感染が確認される

3月

上北小学校校舎改修工事完了

令和3年 2021

3月

東北町役場本庁舎耐震改修工事完了

8月

台風9号からの温帯低気圧による降雨で七戸川が一部決壊
間手場地区周辺が大規模冠水(国が激甚災害指定)

公共施設にご意見箱の設置、広報紙で町民の声開始

9月

小川原通跨線橋の架け替え事業開始

12月

東北町老人福祉センター温泉浴場改修工事完了



東北町武道館完成



ゆうき青森農協 本所移転



名誉町民 沼山助内 氏



上北天間林道路開通



東北小学校新校舎

令和4年 2022

1月

冬花火町内4カ所で打ち上げ

2月

北京オリンピックで東北町出身の枋木司選手が活躍

3月

分庁舎機能をコミセンへ移転し、東北支所に総合窓口設置

小川原湖漁協小川原湖水産物流通加工センター完成

4月

農林水産省との人事交流開始

6月

小川原湖公園ふれあい村に新たな複合遊具設置

10月

東北地区・上北地区を結ぶ買い物交流バススタート

11月

牛乳でスマイルプロジェクト(農林水産省)に参加
東北中学校が中学校体力づくりコンテストで日本一

令和5年 2023

4月

町税等のコンビニ・スマホ納付開始

防衛省東北防衛局との人事交流開始

子育て未来支援金給付を開始

8月

東北町子ども議会開催

9月

地域活性化起業人着任

令和6年 2024

2月

各種証明書のコンビニ交付開始

4月

新東北町商工会誕生

東北町駅前にぎわいパートナー事業開始

小川原湖プロジェクト開始

東北町地域おこし協力隊着任

5月

道の駅おがわら湖開業20周年

6月

東北町役場本庁舎空調設備供用開始

7月

夏休みバス運行開始

8月

局地的な激しい雨により東北温泉裏で土砂崩れ

11月

関東東北町会発足

東北町中学生議会開催

東北中学校が中学校体力づくりコンテストで3連覇



中学生議会



関東東北町会設立



道の駅おがわら湖20周年



枋木 司選手 北京オリンピック出場報告



総合窓口設置



子ども議会



コンビニ交付開始



駅前にぎわいパートナー事業開始



町第1号の地域おこし協力隊



おかやま
岡山

りゅうま
隆真

理学療法士

てんま
天間

みか
美嘉

折れずに自分らしく
頑張ります！



笑顔が絶えず
素敵な人生に
していきます！

しばさき
柴崎

ひなた
日向



おとべ
乙部

しゅう
萩

社会に貢献が
出来る
ボランティアです！



きたがわ
北川

ゆうたろう
雄太郎

かっこいい
消防士
になる！

えびな
蛸名

さあや
咲純

保育士



さかもと
坂本

らら
羅々

歯科衛生士



えびな
蛸名

かなえ
叶枝

出逢ってくれた
方々への感謝を
忘れず、沢山の笑顔
を作出せる人になる！



はたちの夢

町制施行20周年となる2025年
東北町とともに20歳の門出を迎えた皆さんに
将来の夢をお聞きました。

みんなが元気になる健康福祉のまち

- ◎出産・子育ての希望をかなえ、少子化に歯止めをかけるため生みやすい環境・育てやすい環境の向上
- ◎町民が健やかに安心して暮らせるよう、保健・医療や高齢者支援、地域福祉の充実など健康長寿の環境の向上

未来を切り拓く人を育む教育・文化のまち

- ◎子どもたちが未来を切り拓く人財として心身ともにたくましく育つよう、学校教育や社会教育、青少年の健全育成
- ◎町民の健康・体力の維持・増進とスポーツの盛んな町として明るく豊かなまちづくりに向け、スポーツの振興をリード

活力と交流あふれる産業のまち

- ◎町民所得の向上と町全体の活性化に向け、本町のまちづくりの中心を担う農業と水産業の活性化をリード
- ◎活力とにぎわいあふれるまちづくりと若者の定住促進に向け、商工業の振興と雇用の確保をリード
- ◎観光客の増加による町経済の活性化、観光から定住・移住への展開に向け、観光機能の強化をリード

総合振興計画

東北町

東北町では、特色ある農林水産業や緑の大地と小川原湖に代表される豊かな自然をはじめ、本町ならではの特性・資源を生かした魅力あるまちづくりを進めるため、第2次東北町総合振興計画「とうほくまち新時代への道標（みちしるべ）基本構想」（平成28年度～令和7年度）、後期基本計画（令和3年度～令和7年度）を策定し、将来像として掲げた『笑顔・元気・活力あふれ未来に羽ばたくとうほくまち』の実現を目指し、様々な施策を進めています。

きれいで安全・安心な生活環境のまち

- ◎環境と共生する循環型の持続可能なまちづくりを進めるため、環境保全・エネルギー対策やごみ処理、下水道の整備をリード
- ◎頻発する大規模災害の教訓を踏まえた、あらゆる災害に強い安全・安心なまちづくりを進めるため、消防・防災体制の充実をリード

発展を支える生活基盤が整ったまち

- ◎将来にわたって持続できる魅力ある市街地の形成、新しい時代に対応したまちづくりに向け、市街地の整備や未来技術の利活用をリード
- ◎人口減少の歯止めと直結する住宅の確保、町外からの転入者の増加に向け、住宅の整備と定住・移住対策、結婚の支援をリード

みんなで協力してつくる自立したまち

- ◎住民自治・協働による地域の持続的発展に向け、地域ミニ計画の策定支援などコミュニティの活性化、協働のまちづくりをリード
- ◎本町のまちづくりへの多様な人財の参画、何らかの関係から定住・移住への展開に向け、本町のファンとなり応援してくれる関係人口の増加をリード

東北町 おもな 年間イベント



春まつり

4月 ㊦ 春まつり(まなかフェスタ)

5月 ㊦ 春まつり(へら鮎釣り大会)

7月 ㊦ いかだレース
㊦ 湖水まつり

8月 ㊦ 秋まつり

9月 ㊦ 日の本中央まつり

10月 ㊦ わかさぎマラソン
㊦ 美味満彩祭り

11月 ㊦ 生き活き産業文化まつり

1月 ㊦ 成人式

2月 ㊦ 郷土芸能発表会

3月 ㊦ 文化協会芸能発表会



秋まつり



湖水まつり



わかさぎマラソン



日の本中央まつり



生き活き産業文化まつり

イベント情報は
東北町観光協会のHPもチェック⇒



観光協会
Instagram ⇒



県内第2位の生乳産出額を誇り酪農の町
でもある東北町。
酪農家が丹精込めて生育し、搾乳した生
乳を一人でも多くの皆さんに消費してもら
えるよう消費拡大運動を展開しています。



牛乳でスマイルプロジェクトとは・・・

酪農・乳業関係者のみならず、様々な企業・団
体・自治体などが、共通ロゴマークの下、官民をあ
げて牛乳乳製品の消費拡大に取り組むことを目的
としています。

東北町は令和4年11月から参加

取組内容

1. 消費拡大キャンペーン
2. 酪農紹介
3. 牛乳で乾杯
4. 牛乳活用レシピ
5. 牛乳提供

東北町の活動内容や詳細については
町HPをチェック!!

東北町 牛乳

牛乳でスマイルプロジェクト

小川原湖プロジェクト



小川原湖を次世代に。
水質悪化に対処するため、小川原湖に
携わるすべての人が一丸となり、できる
ことから始めることが重要です。

令和6年4月始動

小川原湖

取組内容

1. 湖内環境の改善
2. 清掃
3. 生活・産業排水対策
4. 販路開拓・P R
5. 資源管理・回復
6. 学習・啓発
7. 調査研究

Project

チャリティーポロシャツ
道の駅おがわら湖で販売中!



小川原湖プロジェクトの詳細は
町HPをチェック!!

小川原湖プロジェクト



道の駅 おがわら湖
『足湯』

心と身体に
ひと呼吸の
贅沢を

ふれあい村ケビンハウス
『プライベートバレルサウナ』

町の公式SNS

ホームページ



Facebook



東北町

YouTube



@town.tohoku7821

X



@Tohoku_Town

防災メール



Instagram



@tohoku_official



@oishiku_tohoku

20周年ロゴマーク



小川原湖の水質改善を受け、水色をメインカラーに設定し、美しくなる湖を表現。
20の周りには、「未来へつながる」輪と、「未来へ羽ばたく」東北町の鳥である
白鳥をモチーフにデザインしました。

【作成者】川崎 真依さん

20周年キャッチフレーズ

つなぐ20年の歴史、
未来へ羽ばたく東北町

20年の歴史を大切にし、これからの未来に向かって進んでほしいという思いを込めました。

【考案者】井上 暖翔さん

20周年記念誌デザイン…

表紙の「20」の数字の中には、町の20年間の歩みを象徴する写真をコラージュし、町の歴史と住民の活動を一目で
伝わるようにデザインしました。

背景の青空と太陽の光が差し込む写真には、これまでの歩みに感謝しつつ、未来へ向け、進んでいく希望と輝きを表現
しています。広がる空は、無限の可能性と一人一人の新たな一歩を応援するメッセージを込めました。

つなぐ20年の歴史

未来へ羽ばたく東北町



東北町
町制施行20周年記念誌
令和7年 8月

発行：東北町

〒039-2492 青森県上北郡東北町上北南四丁目 32-484

TEL 0176-56-3111 FAX 0176-56-3110

HP <https://www.town.tohoku.lg.jp>

企画・編集：東北町 企画課